

「恐ろしい！

漢字が読めな～い！」

～中学生で

国語の教科書

仮名だけ拾い読み～

標記の言葉は、今の小中高
大生に当てはまります。

無論そうでない生徒の皆さん
もおります。

漢字は、日本の国の文字で
あります。

その漢字が今の学生は、“
読めない” “書けない” “
書き順メチャメチャ” “汚い
字” と言うんですから本当に
困ります。

しかし“困ります”では済ま
されないことが多くあります。

関西の中学校では国語の
教科書を読ませると、なんと漢
字を飛ばして、“ひら仮名”
だけ読む生徒が20% (30名ク
ラスなら6名) いるそうです。

聞いていて吹き出しそうにな
るそうです。とても恐ろしい事
です。

国語の本を漢字を飛ばして
読むくらいですから、他の教科
の教科書の文章の内容を理解
するのは無理であります。



みとみ学園

学園長 三富邦基

よく、算数の問題で文章題
の問題が苦手という生徒が
おります。

よく見ると漢字が読めないこ
とがほとんどなそうです。

私は、書道の効果を声を大
にして訴えたいのです。

書道は“静”であります。
今、子どもの周りはほとんどが
“動”です。

落ち着いて勉強する雰囲気
が昔と比べて本当に少ない
のです。

- ①書道は落ち着いて
勉強の習慣ができる。
- ②主に漢字を学習するので、
漢字に対して興味を持つ。
- ③漢字に対してセンスが
できる。

「氵」は水に関係する文字、
「木」辺は木に関係する文字
などと想像力豊かな子どもに
なります。

書道、珠算学習は理想
的な習い事であることが、お
分かりいただけたと思います。